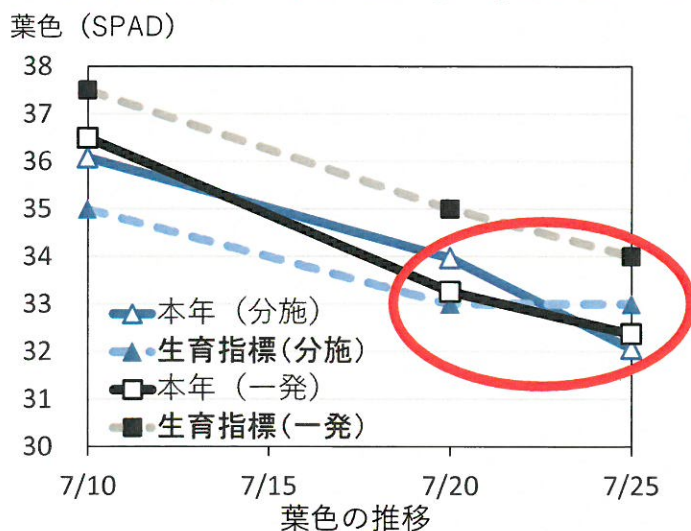


緊急稲作情報

新潟みらい農業協同組合

葉色が急激に低下！ 追加穂肥と水管理で後期栄養確保！



葉色が急激に低下しているほ場が多く見られる
↓
後期栄養不足の懸念



今後の管理のポイント (コシヒカリ)

1. 分施体系の穂肥

◎2回目穂肥を確実に施用

出穂10日前頃に窒素成分で 1～1.5kg/10a 施用

◎3回目穂肥の施用の検討

下表をめやすに窒素成分で 1 kg/10a 施用

栽培体系	使用肥料	3回目穂肥判断基準 (SPAD値)	施肥時期
慣行	化学肥料	出穂3日前の葉色 31以下	出穂3日前
減減	有機50% 有機100%	出穂6日前の葉色 33以下	出穂6～3日前

2. 基肥一発体系の追加穂肥

出穂期の葉色がSPAD値で32～33を下回る予想の場合、出穂3日前までに 1～1.5kg/10a を追肥する。

3. 水管理

飽水管理により、土壌からの窒素供給を図る

～ **農作業時の熱中症対策は万全に!** ～